

草津温泉街から車でたったの 5 分。このスキーリゾートのパウダースノーと家族向けレジャーの数々は、1935 年以來、多くの訪問客を惹きつけてきました。難易度の高い急斜面から、初心者にぴったりの緩やかなコースまで、全てのレベルの人に対応した様々なスキーゲレンデが用意されています。2018-2019 年シーズンには、新たな林間コース、R292 が追加されました。このコースは、2 キロの長さの道路を冬季通行止にして利用しています。

このリゾートは常に進化を続けており、現在では、爽やかな林道 2 種類から選択して、スノーシューもお楽しみいただけます。家族向けには、ファミリーゲレンデとキッズパークで、スキーやそり、滑り台やフワフワ遊具で遊べるので、お子様も大満足。

冬の一大イベントとなる花火ショー、草津温泉冬花火は、3 月の第一土曜日に開催されます（悪天候の場合は延期）。1,000 発以上の花火が、冬の空とゲレンデをライトアップします。花火好きの皆さんは、頭上に花火を望みながら、天狗山ゲレンデでナイタースキーをぜひお楽しみください。

2018-2019 年シーズン：12 月 15 日～3 月 31 日

草津温泉について

草津温泉の温泉地は、標高 1,200 メートルの高原に位置しており、その西には標高 2,000 メートルの山々が聳えています。日本三名泉のひとつである草津温泉は、湯もみと呼ばれる入浴文化で有名です。湯もみは、噴出する高温の湯を冷ます独特の方法として確立されました。また、草津温泉は、自然湧出量が日本一であることでも有名で、その量は毎分およそ 32,300 リットルにも及びます。

何百年もの昔から、この酸性の硫黄泉を求めて、草津まで入浴客が絶え間なく訪れてきました。この温泉水には殺菌効果があり、恋の病以外の全ての病を治すと言われていました。さらに、この癒しの水は、将軍の病を癒すため、山野を越えて運ばれました。

地元の民謡ではこう歌われています。「草津よいとこ 一度はおいで」と。

草津温泉スキー場の歴史

膨大なパウダースノーと穏やかな気温の冬が、草津が理想的なスキーリゾートたる所以です。実際に、草津は日本でスキーを最初に始めた場所のひとつです。1911年、オーストリア＝ハンガリー帝国のテオドール・エードラー・フォン・レルヒ少佐（1869–1945年）によりスキーが日本に持ち込まれました。そのわずか2年後、スキーは新潟から山脈を越えて草津に伝えられ、そこで急速に拡がりました。最初のスキーヤーが草津の山を初めて滑り降りたわずか1年後の1914年、草津で初めてのスキー場がオープンしました。同年、当時日本で2番目となるスキークラブが草津で設立されました。

1935年、草津温泉スキー場のゲレンデが大衆に公開されました。当時は林間スキー場と呼ばれ、当時からある天狗山ゲレンデは、現在でも利用されています。それ以降、草津温泉スキー場は日本のスキーの発展において「初」となる数々の事柄を行ってきました。草津は、日本のスキー場で初めてスキーリフトを導入し、スキー教室を開きました。さらに草津は、日本で初めてスキー大会を開催しました。

それと並行して、草津温泉スキー場は新たなコースやスキーリフト、様々なレジャーを旧来のラインナップに追加し続けています。最近では、2018–2019年シーズンに、R292コースが新たに追加されました。

草津の山々を滑り降りると、日本のスポーツの歴史の一部になった心地がすることでしょう。訪問者は、100年以上前の日本人初のスキーヤー達がスキーの跡を残した、同じゲレンデで滑ることができるのです。

草津ブランド

冬の間、草津は週に何度も新たな積雪に恵まれます。常に新鮮な雪上を滑走できることは、草津でのスキーやスノーボードの楽しみの一つです。

しかし、素晴らしい雪の他にも、スキー場では周りの自然環境や野生生物を保護する必要があります。草津温泉スキー場は、山岳リゾートによる地域活性化組織、Mt.6（ベスト・オブ・ザ・クラシック・マウンテンリゾート）の一員です。Mt.6は、1999年の設立以来、伝統的なスキー場文化の保護に努める一方で、スキー場と近隣の天然温泉で、お客様に一流サービスを提供し続けています。

家族向けレジャー

ゲレンデをスキーやスノーボードで滑ることだけが冬の楽しみではありません。草津温泉スキー場には、雪遊びや景観を楽しむための様々な方法が用意されています。幅広いウィンタースポーツやレジャーを揃えており、全ての年代の様々なレベルの訪問客は皆、笑顔でスキー場を後にするに違いありません。草津温泉スキー場では、スキーやスノーボードに加え、スノーシューや、小さなお子さん向けのそりや野外キッズパークを用意しています。屋内には、休憩が必要な家族のためのプレイルームの他、親たちが子どもを預けてゲレンデを楽しむことができる、専属保育士付きの託児所があります。

年中楽しめるリゾート

パウダースノーと癒しの温泉で有名な草津温泉スキー場ですが、ここはウィンターシーズンのみの行楽地ではありません。グリーンシーズンには、このスキー場はアウトドア好きにとってのパラダイスとなります。草津は自然豊かで夏も比較的涼しいため、ハイキングコースや高原の風景をお楽しみいただけます。グラススキー、マウンテンボード、パターゴルフ、テニスなどのレジャーも大人気。

春と夏には、斜面が高山の花々で彩られ、秋には、山腹が紅葉で輝きます。ウィンターシーズンのゲレンデやスノーシューコース、そしてグリーンシーズンのハイキングで、清々しい森の空気を胸いっぱい吸い込みましょう。

飲食

新鮮な山の空気ほど食欲を刺激するものではありません。そして、草津温泉スキー場では、舌の肥えたスキーヤーたちも満足するメニューを取り揃えています。天狗山メインゲレンデの麓には、天狗山メインレストラン、天狗 cafe、天狗山ロッジがあります。お腹をすかせたスキーヤーたちは、ラーメンやカツ丼、ピザ、ビーフシチュー、ロコモコなど、様々な日本食や洋食からお好きなものをチョイスできます。子ども向けに、飲み物とデザートをついたスペシャルお子様ランチも用意されています。地元の名物である舞茸もぜひお試しください!

ゲレンデで小腹が空いたスキーヤーは、天狗山展望カフェ（コーヒーと軽食）、おなりロッジ（温かい飲み物と軽食）、青葉山レストラン（自家製中華料理）に行き、山の上でほっと一息つくことも。

温泉でリラックス

ゲレンデで1日を過ごした後は、地元の温泉にゆっくり浸かって疲れた筋肉をほぐしましょう。草津温泉は、日本三名泉のひとつであり、多くの公衆浴場や野外露天風呂を有しています。その多くがタワーのある海外訪問客にも対応しています。恥ずかしがる必要はありません。疲れ切った体と筋肉を温泉で癒しましょう。そして、癒しの湯から上がる頃には、ゲレンデに挑戦する元気が戻っていることでしょう。